



文部科学省・外務省後援

第6回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート

世界交流大会 2021 報告書

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：

2021年1月23日(土)、24日(日)

会場：

オンライン開催 (Zoom)

主催：	一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
助成：	公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人日本英語交流連盟、大阪府立大学

参加校とディベートチーム：21 チーム (日本 5 チーム、海外 16 チーム)

日本 聖光学院高等学校

日本 湘南白百合学園高等学校

日本 神戸大学附属中等教育学校

日本 青森県立青森高等学校

日本 秋田県立角館高等学校

UAE Fatimah Bint Mubarak for Secondary Education

フィリピン Timber City Academy

モンゴル Hobby School of Ulaanbaatar

タイ Demonstration School (Secondary), Prince of Songkhla University

ネパール (欠場)

モロッコ Moroccan National Debate Team

ベトナム Vinh Linh High School

タジキスタン Economics Lyceum for Gifted Students, Presidential School

ウガンダ National Debate Council Uganda

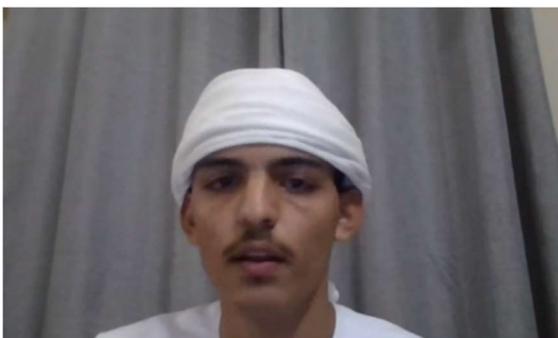
南アフリカ (欠場)

パキスタン、ケニア (Swing 1)

中国、アメリカ、オランダ (Swing 2)

韓国 (Swing 3)

17 各国 (日本含む)



大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。

本大会では、パーラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。キーノートスピーチなど最新の講演も織り交ぜ、グローバルに活躍できる人財育成とすることを目的とします。ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選 1 : High school students should have part-time jobs.

高校生はアルバイトをすべきである。

予選 2 : The death penalty should be abolished.

死刑は廃止すべきである。

予選 3 : Government should force people to take a COVID-19 vaccine.

政府は COVID-19 ワクチン接種を義務化すべきである。

予選 4 : The permanent ban of Donald Trump's Twitter account should be removed.

ドナルド・トランプ氏の Twitter アカウントの永久凍結は解除されるべきである。

準決勝 : Combat sports should be banned.

コンバットスポーツは禁止されるべきである。

決勝 : Development aid does more harm than good in developing African countries.

アフリカの発展途上国に対する開発援助は利益よりも害をもたらす。

キーノートスピーチ講師

We Think Code_ Co-founder, BiB.africa Co-founder

2019 Forbes Woman Africa winner

(Technology and innovation Award)

Ms. Arlene Mulder



1日目（開会式、予選3ラウンド、文化交流、カルチャーナイト）

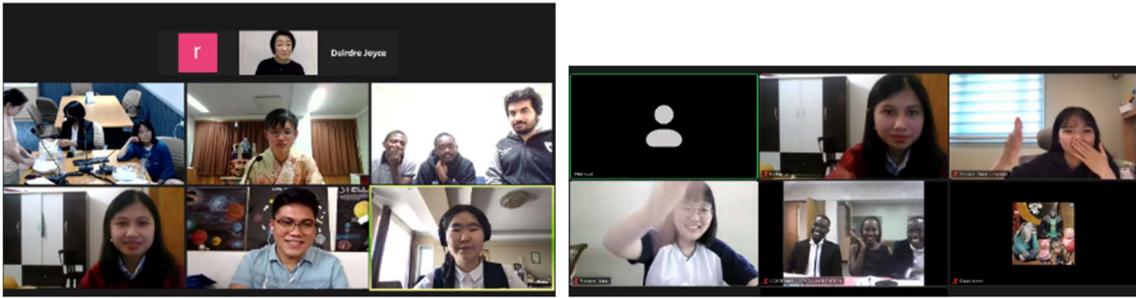
第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会が始まりました。開会式では PDA 代表理事の中川智皓から挨拶と各国のチーム紹介（海外16ヶ国から16チーム、日本からは5校）がありました。チーフジャッジの綾部先生からルールの確認がありました。



開会式後、早速予選が始まりました。ディベート中は、POI（Point of Information）が活発に交わされ、白熱した議論が繰り広げられました。ディベートが終わりジャッジの先生からのフィードバックに移ると、次のラウンドに活かそうと真剣にアドバイスを聞く姿が見られました。

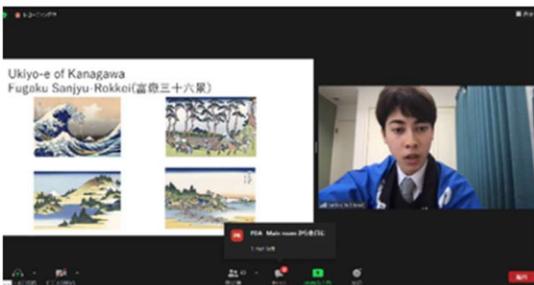
論題は「High school students should have part-time jobs. 高校生はアルバイトをすべきである。」、「The death penalty should be abolished. 死刑は廃止すべきである。」、「Government should force people to take a COVID-19 vaccine. 政府は COVID-19 ワクチン接種を義務化すべきである。」の3つでした。Zoomを使用して離れた国のチームとディベートをする経験は生徒たちにとって刺激となったようです。ディベートを通して生徒たちが文化の違いによって議論の前提が異なることに気付く場面もありました。高校の授業料がすでに無償化されている国もあれば、そうでない国もあります。また、就職活動における就業経験を重視するか否かも異なります。それぞれの前提をすり合わせて議論を行うことも、生徒たちにとっては新しい経験となりました。



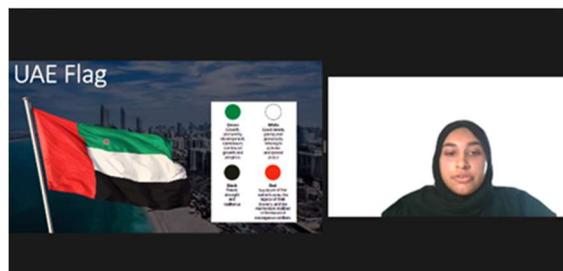


予選1ラウンド後に、Zoom ブレイクアウトルームを用いた交流が行われました。10分ごとに話し相手を変え、前のラウンドの結果やそれぞれのチームの衣装などについて話し合ったようです。10分では足りないという声が聞かれるほど、生徒たちは交流を楽しんでいました。

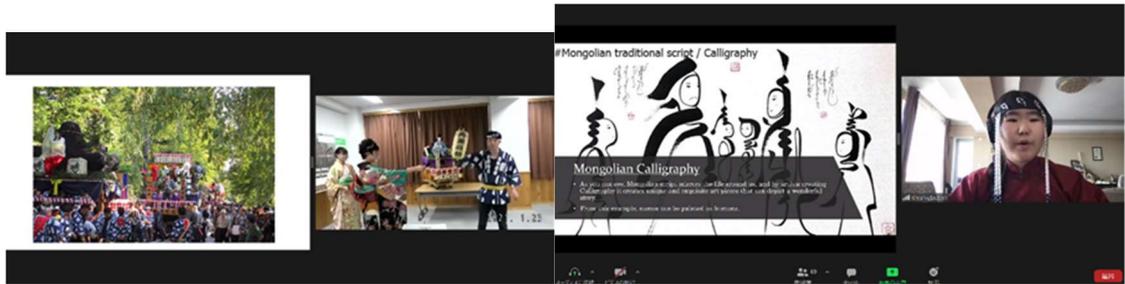
予選2ラウンド後のカルチャーナイト（世界の国々の文化紹介）では、各国の魅力を紹介するプレゼンテーションが行われました。伝統のダンスや歌、食の魅力や美しい景色、文化などをお互いに知る機会となりました。Zoomのチャット欄では各々のパフォーマンスに賞賛が送られ続けました。



聖光



アラブ首長国連邦

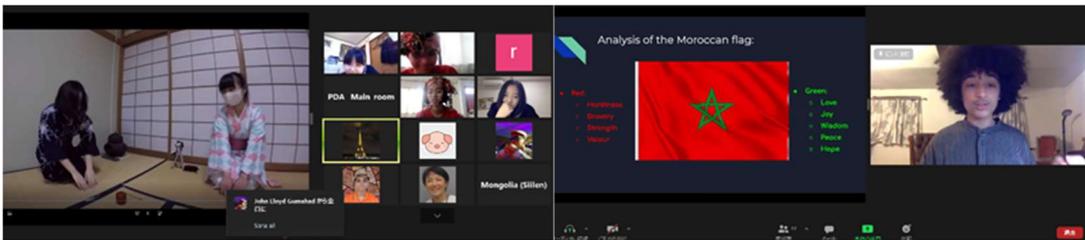


角館

モンゴル



フィリピン

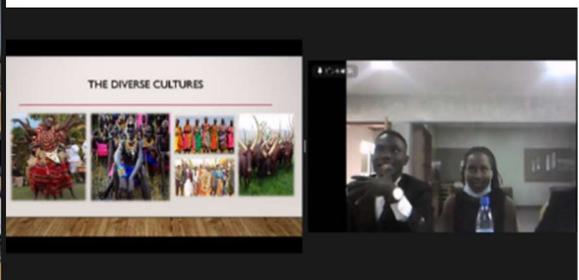


湘南白百合

モロッコ



タイ



ウガンダ



青森



タジキスタン

ベトナム

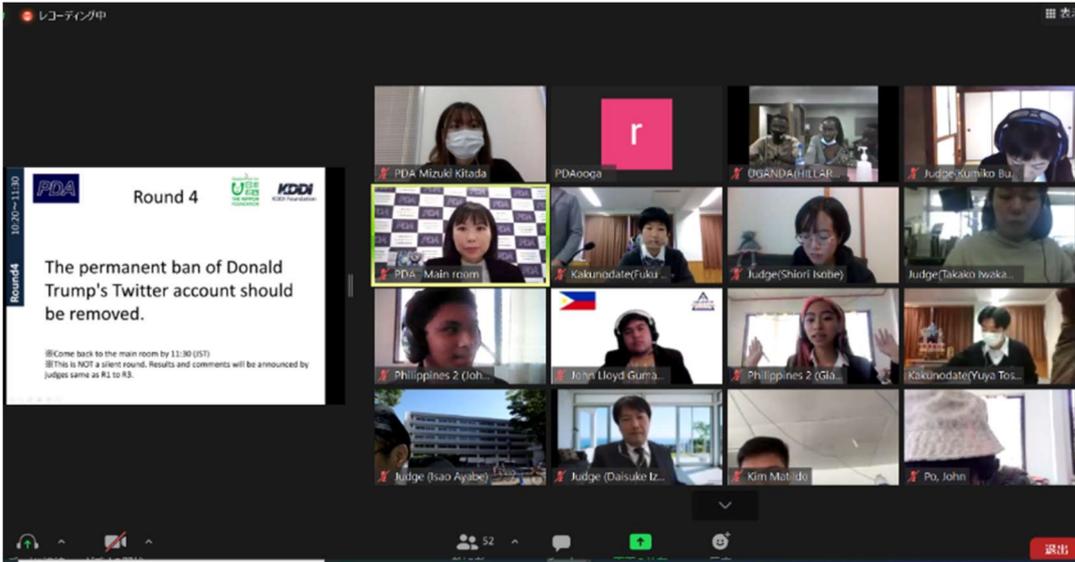


神戸大附属

中国

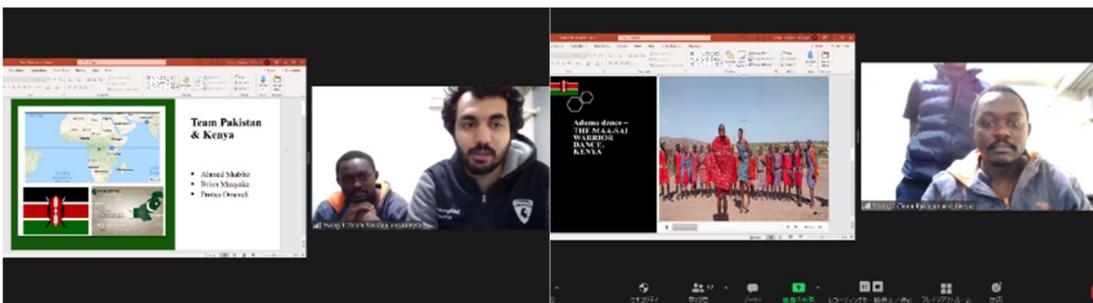
2日目（予選、準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

2日目は予選ラウンド4から始まります。論題「The permanent ban of Donald Trump's Twitter account should be removed. ドナルド・トランプ氏の Twitter アカウントの永久凍結は解除されるべきである。」のもと、昨日の反省点を踏まえ、熱いディベートが繰り広げられました。

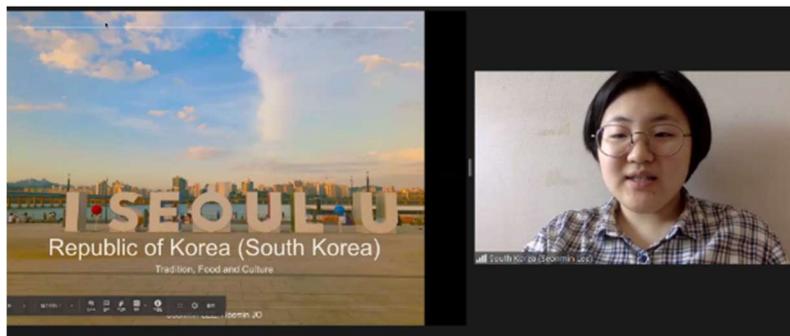




予選後はレクリエーションです。昨日発表できなかった国のプレゼンテーションを行った後、ブレイクアウトルームにて生徒たちは会話を楽しました。それぞれの出身地について詳しくなったからか、昨日より親密な会話が聞こえました。



パキスタン&ケニア



韓国

休憩をはさみ、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）が行われ（結果は下記）、準決勝が始まりました。準決勝に進出できなかったチームも、メモを取りながら準決勝を見学し、試合後に意見交換をする様子も見られました。



聖光

モロッコ (レッド)

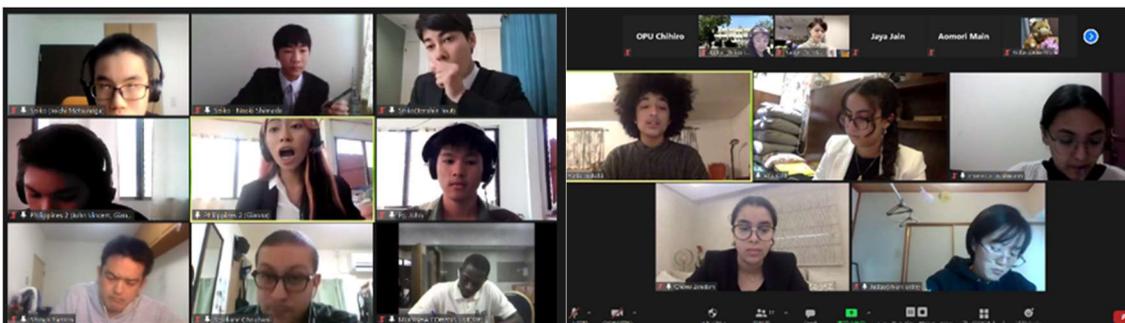


モロッコ (グリーン)

ベトナム・韓国 swing



フィリピン2



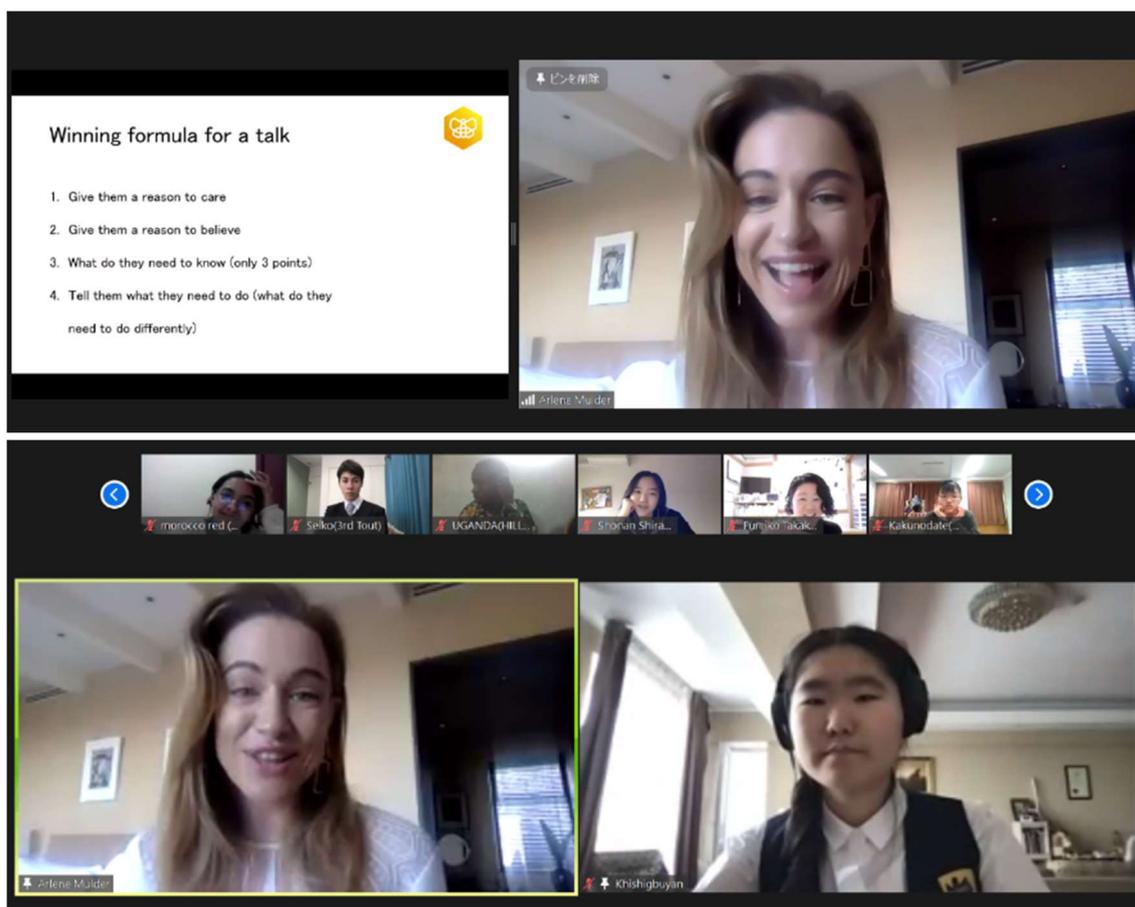
準決勝 1

準決勝 2

予選結果

- 1位 聖光
- 2位 モロッコ レッド
- 3位 モロッコ グリーン
- 4位 ベトナム (韓国 swing, ブレイク権無し)
- 5位 フィリピン 2
- 6位 Swing 2 (中国、アメリカ、オランダ)
- 7位 ウガンダ
- 8位 湘南白百合

決勝の前に、キーノートスピーカー、Arlene Mulder 氏 (We Think Code_ Co-founder, BiB.africa Co-founder, 2019 Forbes Woman Africa winner (Technology and innovation Award)) のご登壇があり、発展途上国における教育についてお話いただきました。氏のディベーターとしての経験も活かした内容に生徒たちは興味津々でした。

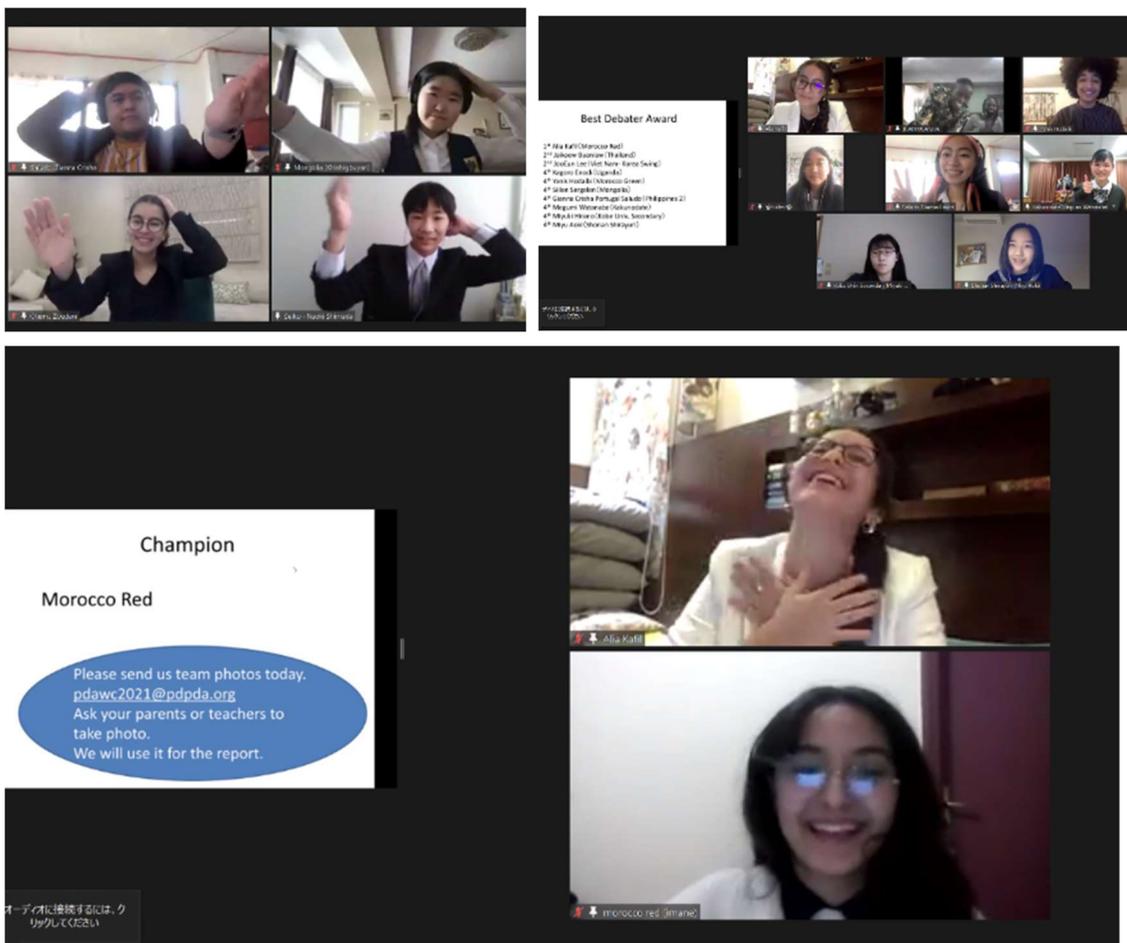


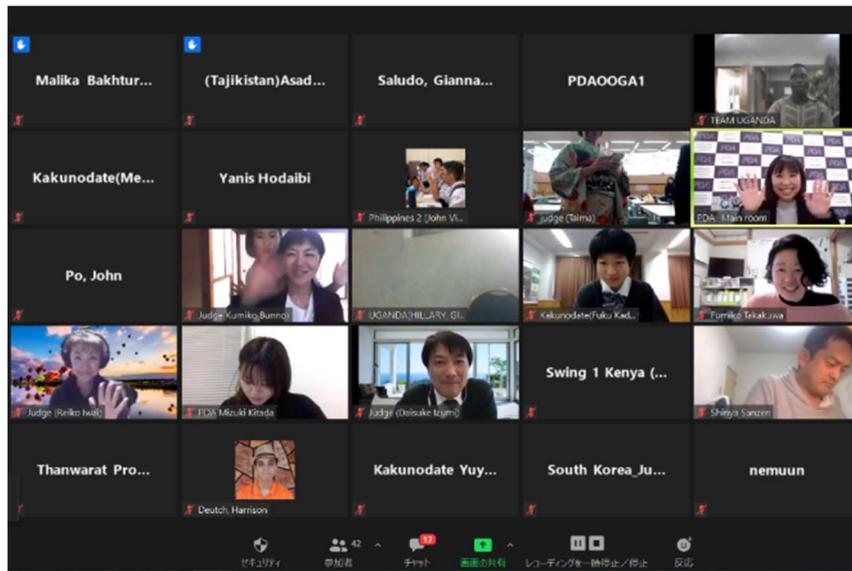
キーノートスピーカーに質問するモンゴルの高校生

キーノートスピーチの後はいよいよ決勝(モロッコ(レッド) 対 フィリピン2)です。張り詰めた緊張感の中、全ての参加者が2日間一緒にディベートを行い、勝ち上がったチームのスピーチを真剣な眼差しで見つめていました。ジャッジの投票が3-2の接戦の結果、優勝者はモロッコ(レッド)でした。



閉会式では、表彰式とチーフジャッジの綾部先生より講評がありました。最後に、PDA 代表理事中川から「来年もお会いできることを楽しみにしています。これからも頑張ってください。」とエールが送られました。





新型コロナウイルスの影響下でオンライン開催となりましたが、大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会結果

チーム賞

優勝：モロッコ（レッド）

準優勝：フィリピン2

準決勝出場チーム：聖光学院高等学校、モロッコ（グリーン）

個人賞

ベストディベーター賞

第1位 -- (Morocco Red)

第2位 -- (Thailand)

第2位 -- (Viet Nam/ Korea Swing)

第4位 -- (Uganda)

第4位 -- (Morocco Green)

第4位 -- (Mongolia)

第4位 -- (Philippines 2)

第4位 -- (Kakunodate)

第4位 -- (Kobe Univ. Secondary)

第4位 -- (Shonan Shirayuri)

POI 賞

第1位 -- (Mongolia)

第1位 -- (Philippines 1)

第3位 -- (Morocco Green)

第3位 -- (Thailand)

第5位 -- (Seiko)

文化賞

フィリピン

角館

青森

タイ

第6回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会 感想

世界交流大会の感想（抜粋）

（生徒）

- 今回参加して多くのことを学びました。また、様々な国の人と出会い友人もできました。次の機会もぜひ参加したいです。（タジキスタン）
- 他の学校と交流できたことがとても良い経験でした。全体としてとても楽しかったです。（モンゴル）
- 主催の方がとてもやさしく、いい機会になりました。（フィリピン）
- （キーノートスピーチについて）彼女のスピーチ内容に感動しました。影響力があったと思います。（モロッコ）
- 海外のチームとディベートできて楽しかったです。様々な国の生徒と交流できたところもよかったです！新しい友人がたくさんできました！（モンゴル）
- PDAWC は私が初めて参加するディベートの大会でした。オンラインで参加し、このような結果が出せたことは私とチームにとって誇らしいことです。自分のポテンシャルに自信が付きましたが、それと同時に海外のより優れたディベーターがいることも実感するので向上心も湧いてきました。（フィリピン）
- （キーノートスピーチについて）良かったです。現在の社会について鋭い視点で切り込む言葉が印象的でした。（フィリピン）
- 新しい視野を得る楽しい時間でした。ありがとうございました♥（アラブ首長国連邦）
- この歴史的なイベントに参加できて嬉しいです。次が待ちきれません（ウガンダ）
- 様々な国の人と関わり、伝統や考えを共有できるともいいトーナメントでした。チョコレートもおいしかったです。（日本）

（教員）

- ディベートだけでなく、海外の学校と交流できたことが素敵でした。（日本）
- 今年で参加3年目ですが、毎年満足しています！（フィリピン）
- （改善点）特にないです。すべてが良かったです（モロッコ）
- 完璧で素晴らしい体験でした。参加できて誇らしいです。（タイ）
- 参加できて本当に良かったです。（タジキスタン）
- PDAWC の全てが素敵でした。世界中の人と本当の意味でつながれたと思います。（日本）